

ラジコンカー ラリー入門

「圧雪路面でオフロードバギーを走らせるとドリフトして面白い」と言うことは、ツーリングの TT-01 にラリータイヤ履いたら・・・面白いはず。

この仮説を自ら実行してみよう。

TT-01 をラリー化する「仮計画」から

この案をブログに書き込んだところポディー・・・ゲットする (TB-01 用らしい)

三菱ランサー-GSR?

(インナー付きですがデカールはなんとか自分で手配してとのこと)



次に

タイヤ選び(情報収集先・・・Booby さん宅にお邪魔)

> タイヤはどれがいいのですか?

HPI の 600 円タイヤで OK とのことです。

(ラリータイヤ)

900 円はタイヤゴムのコンパウンドがやわらかいのですが

600 円は「カチカチ」感があります。

このカチカチ感が圧雪路面にも噛んでくれるようです。

スパイアースパイクタイヤと同じ原理ですすでに実践・検証済み

(オフロード&ラリーの件が、タイヤがあれば走れそうデス)

TT-01 スイフト WRC ボディーもいいかも

-----メモ-----

事前確認で無駄ゼニをはぶく

HPI ラリータイヤ*2 セット@600 = 1200 円 (予)



HPI 4470 ラリータイヤMコンパウンド 2 個入り
600 円 ホイール26mm幅

2009 年 3 月 3 日 (晴れ)

TT-01 ラリー仕様を作る



TB01 用（今売ってないようだ）インナーBody を TT-01 用に加工します。マジックテープを使いシャーシに取り外し可能に加工します。（作業 30-50 分）

[アンダーガードとインナーボディがセットでオプションNO.1 から発売されている](#)

裏は 100 円ショップのビニールテープを貼り付けします。

（雪の上なら多分大丈夫ですが砂などは耐久性が低いかも）

こんな感じ（写真 ）



モーターと電池置き場をビニールテープで防水処理します。
ネジも錆びるので少しテープを上から被せます。

BODY はツーリングを使えばあとはラリータイヤがあればテスト可能までこぎ付けました。

//コーヒーブレイク//

子どもの誕生日にラジコンを買ってから今年の夏で3年になります(^_^)
初めころは「RC(ラジコン)用語」がわからないので「教えてもらっても意味が理解できていない」ことがよくありました。(モーターのターン数など)その状態を繰り返し、最近ではラジコン有識者の言っていることがわりと理解できます。必要な道具も揃ってきました。

あとは、言われたことを「やる」やる気作り

無理に作っているうちは半人前かもしれません(毎日ラジコンいじります)

マシンのメンテしたりする「習慣」作り

タイヤ作り、ボディー作り、パーツ確保。

モーターのメンテ、 マシンのメンテ、 オイルダンパーのメンテ・・・**机の上は作業スペース確保する**(今から片付けます)



あとは、必要なものを手配(買う)する 「資金」作り(いっぱい働きます)

練習する、サーキットに行く。「時間」作り(土・日・祝日休みな仕事探しをします)

サーキットに行くと新しい情報を得たりします。新製品の使い心地など有益。

//気づきメモ//

ブラシの予備確保する

特価モーター(ストックなど)を買ってパーツ取りにする

HPI のラリータイヤ NO.4770 入手する

スパイアースパイクタイヤ(リア分1組入手し作る)

記事の内容については伝聞なども含まれます。

当方ではできるだけ精査しておりますが、これらの情報を元に物品などお求め&作業の際は、すべて自己責任で行ってください。

制作 著作 RC 君

TT-01.COM